紙のおもちゃ

犬張子

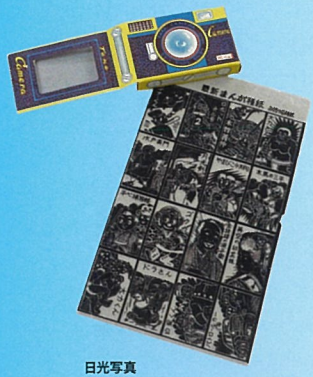
尾舞鳥

赤べこ

輸出用おもちゃ

でんぐり

2023年7月15日（土）～8月27日（日）

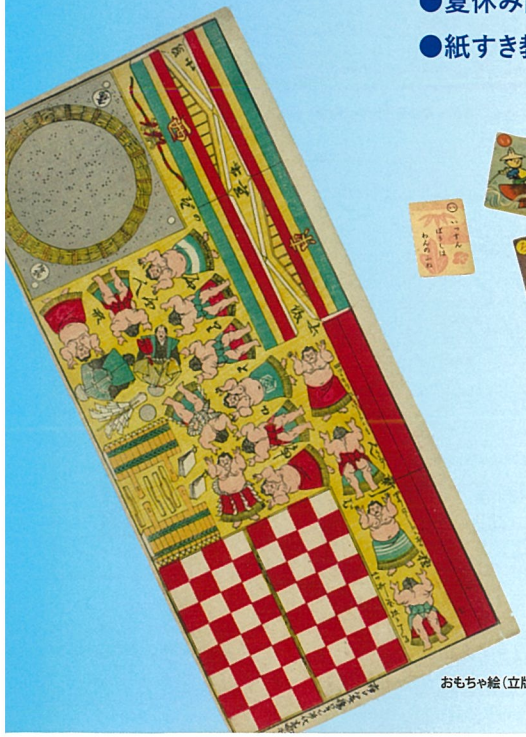

日光写真

会期中の休館日　月曜日［7/17は開館］，7/18（火），7/19（水），8/15（火）
開　館　時　間　10：00～17：00［最終入館16：30］

【会期中のイベント】　◆事前申込制

◆野菜から紙をつくろう	7月27日（木）
◆親子で歩こう！紙の工場跡地	8月3日（木）
◆自由研究「紙を知ろう」	8月10日（木）
◆親子で牛乳パック工作	8月17日（木）
●夏休み図書室自由研究フェア	7月15日（土）～8月27日（日）
●紙すき教室	毎週土曜・日曜、祝日

ふぐ凧


おもちゃ絵（立版古）

カルタ

ぬりえ

紙風船

公益財団法人
紙の博物館
〒114-0002 東京都北区王子1丁目1番3号
TEL (03) 3916-2320　FAX (03) 5907-7511
https://papermuseum.jp/
PAPER MUSEUM

紙のおもちゃ

とんだりはねたり

会期：2023年7月15日(土)～8月27日(日)
会期中の休館日：月曜日［7/17は開館］、7/18（火）、7/19（水）、8/15（火）

「おもちゃ」という言葉は「手に持って遊ぶもの」という意味から生まれた言葉だといいます。時代や世相を反映して、様々なおもちゃが普及・流行してきましたが、身近な素材である紙を使ったおもちゃは、古くから親しまれています。

紙は、とても薄く軽いのに、丈夫でしなやかです。文字や絵を書いたり印刷するのに適しているだけでなく、切る、貼る、折る、丸めるなどの加工がとてもしやすく、さらに安価で、大量に作ることができます。このような紙の特徴を利用して、多くの紙のおもちゃが作られてきました。

本展示では、みんなで楽しむカルタ・すごろく・めんこや、作って楽しむペーパークラフトや着せ替え、凧や人形など郷土玩具として伝わっているものなど、さまざまな紙のおもちゃをご紹介します。

紙は植物繊維から作られ、リサイクルしやすいだけでなく、環境負荷が少ない素材として、見直されています。ゲーム機や電子玩具などとは違う、紙のおもちゃの持つ独特の風合いや温かみ、手軽さなど、あらためてその魅力に触れてみませんか。

会期中のイベント　◆印は事前申込制

詳細はホームページ

◆野菜から紙をつくろう
7月27日（木）　13:30～15:00
対象：小学5年生～中学生　費用：200円

◆親子で歩こう！紙の工場跡地
8月3日（木）　10:30～12:00
対象：小学3年生～6年生と保護者　費用：無料

◆自由研究「紙を知ろう」
8月10日（木）　13:30～14:45
対象：小学4年生～6年生　費用：無料

◆親子で牛乳パック工作
8月17日（木）13:30～15:00
対象：小学校低学年と保護者　費用：無料

●夏休み図書室自由研究フェア
7月15日（土）～8月27日（日）＊予約優先
図書室で紙をテーマとした自由研究のヒントになる本を紹介

●紙すき教室
毎週土曜・日曜、祝日 13:00～14:30（1人10分程度）
当日10:00から14:00まで 2階受付にてエントリー券配布
費用：無料

▲各イベントとも入館料が別途必要です

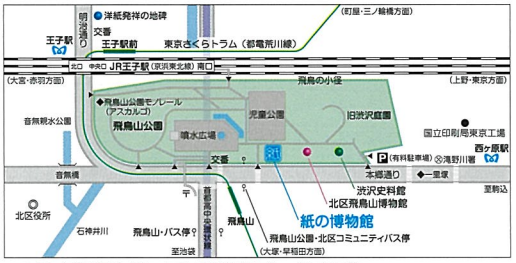
ジグソーパズル 「ピクチュアパズル　モノレール」

着せ替え 「カッコいいきせかえ」

すごろく 「尋常一年優等生新年大附録　乗物動物双六」

公益財団法人
紙の博物館
〒114-0002 東京都北区王子1丁目1番3号
TEL (03) 3916-2320　FAX (03) 5907-7511
https://papermuseum.jp/
PAPER MUSEUM

［開館時間］　10:00～17:00（最終入館16:30）
［休 館 日］　月曜日［祝日は開館］、祝日直後の平日、年末年始、臨時休館日
［入 館 料］　一般400円（320円）/小中高200円（160円）
※（ ）内は、20名以上の団体料金
＊身体障がい者手帳、愛の手帳（療育手帳）または精神障がい者福祉手帳をお持ちのご本人は無料、介助の方は半額となります。



・ＪＲ京浜東北線　王子駅（南口）　徒歩5分
・東京メトロ南北線　西ヶ原駅　徒歩7分
・東京さくらトラム（都電荒川線）　飛鳥山停留場　徒歩3分
・都営バス（王40甲・王55・草64系統）　飛鳥山停留所　徒歩4分
・北区コミュニティバス　飛鳥山公園停留所　徒歩3分

明治６年（1873）、渋沢栄一の提唱で洋紙をつくる**「抄紙会社」**が設立されました。
工場が建設された東京・王子は**「洋紙発祥の地」**と呼ばれています。

次期企画展

抄紙会社150年　―洋紙発祥の地・王子
9月16日(土)～12月17日(日)

今年設立から150年となる抄紙会社のあゆみと、洋紙発祥の地として工場跡地が受け継がれた歴史を紐解きます。